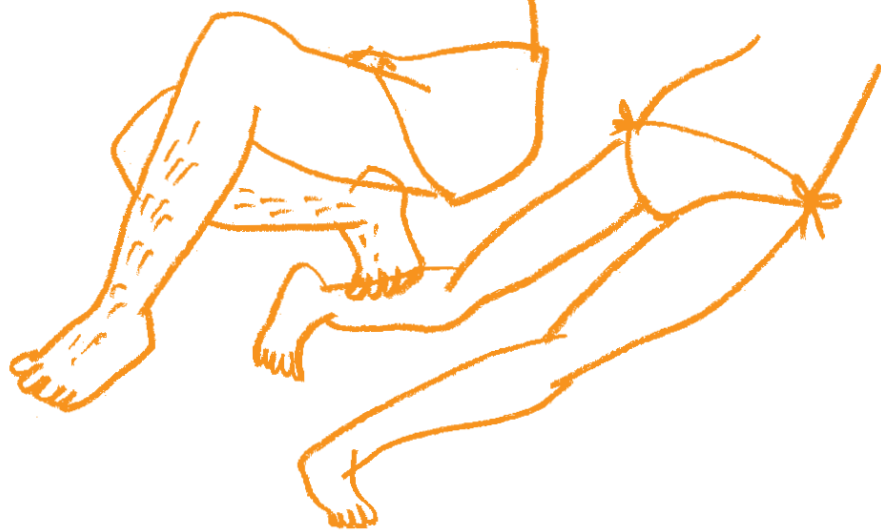


HIV/エイズに関する

みんなの誤解



HIVは、
キスでも
うつる？

Q1

これらの行為も
安全です。



- 抱き合う
- 一緒に鍋をつつく
- プールに入る
- 同じ風呂に入る
- 蚊に刺される

[Q1_こたえ]

NO

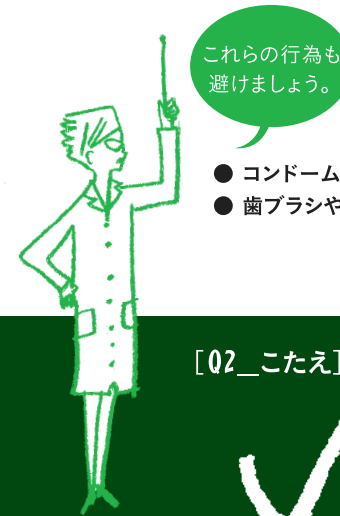
ほとんど、
うつりません。

一般に血液・精液・膣分泌液・母乳以外の体液からの感染はほとんどありません。唾液の中にもHIVは存在する可能性はありますが、血液や精液等に比べればごく少なく、軽いキスによる感染の心配はありません。しかし、血液が混ざった唾液によって感染したと思われる例は報告されています。

(参考: MMWR 1997;46(27):620-623)

HIVは、
オーラル
セックスでも、
(口を使った性行為)
うつる?

Q2



これらの行為も
避けましょう。

- コンドームなしの性的行為
- 歯ブラシやカミソリの共有

[Q2_こたえ]

YES
うつります。

HIVは粘膜や傷ついた皮膚を通して感染する病気です。口の粘膜は性器と比べると感染する危険はやや低いのですが、可能性はもちろんあります。口内炎ができていたり、歯ぐきから出血しているときはさらに危険です。HIV感染を防ぐためには、オーラルセックスの場合にもコンドームを使うことが必要です。

HIVに
感染すると、

自分でも
気がつくような
自覚症状がある？

Q3

エイズ発症までの
潜伏期間は
約10年ほどです。
(個人差あり)

HIVに感染

↓
潜伏期間

エイズ発症

(結核や細菌・カビなどの感染によって)



[Q3_こたえ]

NO
自覚症状は、
ほとんどありません。

HIVに感染してすぐの自覚症状はほとんどありません。発熱や風邪のような症状が出る場合がありますが、多くの場合、見逃されてしまいます。残念なことに、体調の変化に気づいた時にはHIV感染がすでに進行してしまっていたということがよくあります。自覚症状が出る前に感染を知るにはHIV検査を受けるしかありません。

HIV感染は
ピルでも
防げる？

Q4



[04_こたえ]

NO

ピルで HIVは
防げません。

ピルは望まない妊娠を防ぐために飲むもので、女性の体のホルモン分泌に影響します。HIV感染はホルモン分泌の有無にかかわらず、ウィルスが粘膜や傷ついた皮膚に接触することで起こります。ピルではHIVは『絶対に』防げません。

HIVに
感染しているか
どうかは

血液検査で
すぐわかる？

Q5



HIV検査について
知りたいときは
こちら。

HIV検査・相談マップ
<http://www.hivkensa.com/index.html>

[Q5_こたえ]

YES

血液を採取するだけで
わかります。

HIVに感染しているかどうかは、血液を採取して、およそ1週間くらいでわかります。保健所では匿名・無料で検査できます。最近は『感染していない＝陰性』であればその日のうちに結果がわかる迅速検査法も広く使われるようになりました。迅速検査で陰性でないときには、感染している可能性もあるため確認検査を行います。この場合は結果が出るまで数日かかります。

HIVに
感染したら、

数年以内に
死んでしまう？

Q6



[06_こたえ]

NO

HIVは、
きちんと治療を続ければ”
死なない病気になりました。

HIVの治療は新しい薬の開発で大きく変わりました。10年ほど前からとても良い薬が使われるようになって、HIVで亡くなる患者さんの数は激減しています。現時点では薬を一生飲み続けることが必要です。続けることは大変ですが、きちんと飲み続ければ、これまでと同じ生活を、元気にずっと続けていくことができます。

HIVは、
治る病気にな
った？

Q7

治療を支える
制度があります。



- 健康保険
- 身体障害者手帳
- 自立支援医療

[07_こたえ]

NO

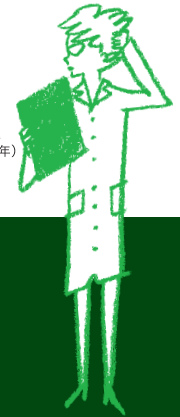
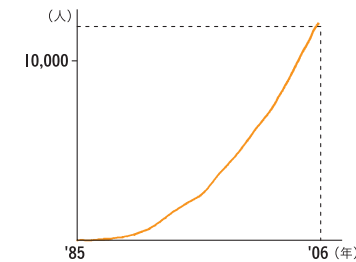
現在、HIVは
治りません。

現在ではとても良いHIV治療薬が開発されています。しかし、これらの治療薬は体の中のウィルスをごく少ない量まで減らすことはできますが、完全にゼロにすることはできません。薬を飲むのを止めればすぐにウィルスは増殖して、体の抵抗力を奪っていきます。現時点では、生涯にわたって治療薬を毎日飲み続けなければなりません。

HIVに
感染する人は、
日本では
減ってきている？

Q8

日本の
HIV感染者/エイズ患者数の累計



[Q8_こたえ]

NO

日本のHIV感染者は
増える一方です。

報告によると、1000人を越える人が毎年新たにHIVに感染しています。日本の感染者数はついに1万人を突破しました。日本の深刻な問題は、自分がHIVに感染していることを知らずに過ごしている人が、この数倍いると推定されることです。

(2006年、厚生労働省エイズ動向委員会)

HIVは 母親から子どもに 感染する？

Q9

HIVに感染しても、
子どもは産めます。



[09_こたえ]

YES

しかし、適切な治療を受けていれば、
感染率もほぼ"ゼロ"にまで
下げることができます。

母親から子供へのHIVの感染は1) 妊娠時に胎盤を通じて、2) 出産時に産道で、3) 授乳時に母乳を通じて、の3つの場面で起こる可能性があります。全く治療をしない場合、子供への感染率は約3割です。しかし、適切な時期に感染が判明して治療をきちんと続けていれば、子供への感染の可能性をほぼゼロにすることができます。

コンドームを
きちんと使えば、

HIVから
身を守ることが
できる？

Q10



[010_こたえ]

YES

コンドームも『正しく』使うことが
とても大切です。

HIVから身を守る最も確実な方法は性的な行為をしないことですが、2番目の方法はコンドームを使うことです。性的な行為をするときに確実にコンドームを使えば、HIV感染を90%以上防ぐことができます。オーラルセックスの場合にもコンドームは必要です。

(参考: Bulletin of the World Health Organization
2004;82(6)454-61)

HIVは、自分が気がつかないうちに、
性的な行為を通じて
人から人へうつっていく病気です。
自分にとって相手はひとりでも、
もし、その相手が複数の人と
過去に性的な関係にあったとしたら、
目の前の相手を通じて、
自分の知らない誰かと
性行為をしているのと同じことです。
HIVに感染しているかどうかは、
血液を調べることですぐわかります。
確実な予防方法もあります。
あなたと、あなたの大切な人の
体と未来を守るために、
HIV感染症とエイズについて、
ぜひ知っていただければ、と思います。

本田美和子

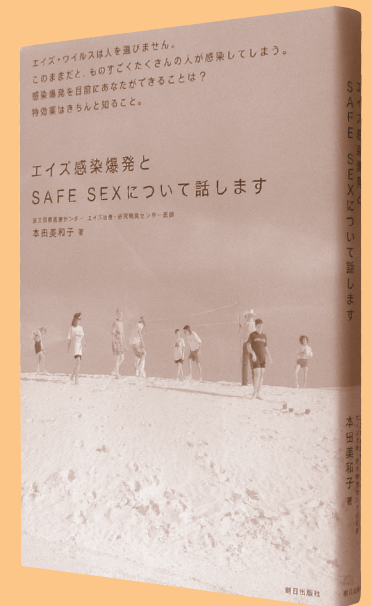
エイズ感染爆発と SAFE SEXについて話します

国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター 医師

本田美和子 著

エイズ・ウイルスは人を選びません。
このままだと、ものすごく
たくさんの人が感染してしまう。
感染爆発を目前に
あなたができることは？
特効薬はきちんと知ること。
あなたと、あなたの大切なひとを、
守るために。

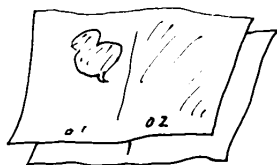
2006年5月25日(木) 発売
本体980円+税
四六判/並製/224ページ



テキスト/本田美和子(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター医師)
イラスト/長崎訓子 デザイン/有山達也+池田千草(アリヤマデザインストア)
編集・発行/朝日出版社第二編集部 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-5 TEL 03-3263-3324 / FAX 03-3263-7471
Text copyright © 2006 by Miwako HONDA Illustration copyright © 2006 by Kuniko NAGASAKI

小冊子『みんなの誤解』の作り方

0 準備するもの

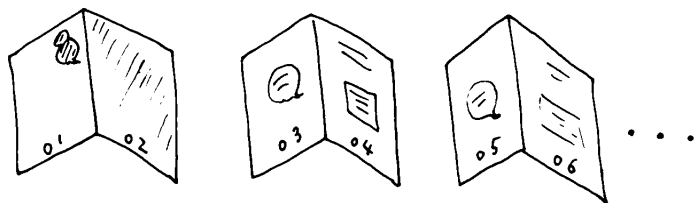


プリントアウトした用紙
(A4サイズ、全12ページ)

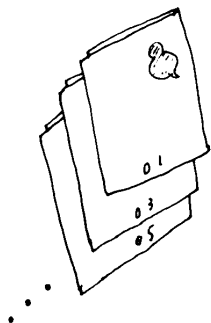


ホッチキス

1 プリントアウトした用紙を、印刷面を上にして、それぞれ中央の線に沿って半分に山折りします。

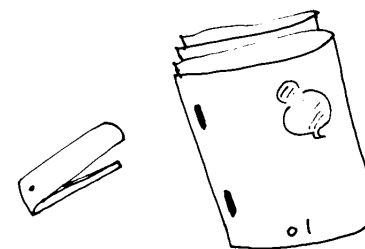


2 折った用紙を、ページ番号の若いものが上にくるようにして、ページ番号順に積み重ねていきます。



3

積み重ねたページをきれいに揃えて、1ページ目が上にくるようにし、左端（開いてる方）を2カ所ホッチキスで留めます。



4

小冊子『みんなの誤解』の出来上がりです。

